

FUTRO

FUTRO A300

製品ガイド

本書をお読みにする前に

1 本パソコンの特長

2 各部名称

3 周辺機器

4 ソフトウェア

5 BIOS

6 お手入れ

7 トラブル
シューティング

8 仕様

目次

本書をお読みになる前に	5
安全にお使いいただくために	5
本書の表記	5
商標および著作権について	6
第1章 本パソコンの特長	
1.1 運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント	8
1.2 管理ツール	9
1.3 不正使用からのセキュリティ	10
1.3.1 BIOSのパスワード	10
1.3.2 インターフェースの制限	10
1.4 パソコンの盗難防止	11
1.4.1 パソコン本体の施錠方法	11
第2章 各部名称	
2.1 パソコン本体前面	13
2.2 パソコン本体背面	14
2.3 キーボード	15
第3章 周辺機器	
3.1 周辺機器を取り付ける前に	18
3.1.1 注意事項	18
3.2 コネクタの接続／取り外し	19
3.2.1 注意事項	19
3.2.2 ディスプレイコネクタ	19
3.2.3 USBコネクタ	20
3.2.4 オーディオ端子	20
3.2.5 LANコネクタ	21
第4章 ソフトウェア	
4.1 ソフトウェアの紹介	23

第5章 BIOS

5.1	BIOSセットアップ	25
5.2	BIOSセットアップの操作のしかた	26
5.2.1	BIOSセットアップを起動する	26
5.2.2	BIOSセットアップ画面	26
5.2.3	各キーの役割	27
5.2.4	BIOSセットアップを終了する	28
5.2.5	起動メニューを使用する	28
5.3	メニュー詳細	29
5.3.1	Mainメニュー	30
5.3.2	Advancedメニュー	31
5.3.3	Securityメニュー	32
5.3.4	Powerメニュー	33
5.3.5	Bootメニュー	34
5.3.6	Exitメニュー	35
5.4	設定事例集	36
5.4.1	BIOSのパスワード機能を使う	36
5.4.2	起動デバイスを変更する	38
5.4.3	Resume on LANを有効にする	38
5.4.4	イベントログを確認する	39
5.4.5	ご購入時の設定に戻す	39

第6章 お手入れ

6.1	日常のお手入れ	41
6.1.1	パソコン本体、キーボード、マウスの表面の汚れ	41

第7章 トラブルシューティング

7.1	トラブル発生時の基本操作	43
7.1.1	状況を確認する	43
7.1.2	以前の状態に戻す	43
7.1.3	トラブルシューティングで調べる	44
7.1.4	インターネットで調べる	44
7.1.5	診断プログラムを使用する	44
7.1.6	ファクトリーリセット	45
7.1.7	サポートの窓口に相談する	45
7.2	よくあるトラブルと解決方法	46
7.2.1	トラブル一覧	46
7.2.2	起動・終了時のトラブル	48
7.2.3	ソフトウェア関連のトラブル	49
7.2.4	ハードウェア関連のトラブル	52
7.2.5	エラーメッセージ一覧	56
7.3	それでも解決できないときは	58
7.3.1	お問い合わせ先	58

第8章 仕様	
8.1 本体仕様	60
8.1.1 A300	60
8.2 ディスプレイ	62
8.2.1 解像度	62
廃棄・リサイクル	63
索引	64

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が『取扱説明書』に記載されています。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書の表記

本書の内容は2012年10月現在のものです。お問い合わせ先やURLなどが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。詳しくは、『取扱説明書』をご覧ください。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】 + 【F3】キー、【Shift】 + 【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「Start」ボタンをクリックし、「Control Panel」をクリックする操作

↓

「Start」ボタン→「Control Panel」の順にクリックします。

■ 画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。

また、イラストは説明の都合上、形状を簡略化していることがあります。

■ 周辺機器の使用

本パソコンは光学ドライブを搭載していません。光学ドライブについては、次のドライブのご購入をお勧めいたします。

- 品名／型名
 - ・ スーパーマルチドライブユニット／FMV-NSM53

また、その他必要な周辺機器が搭載されていない場合は、必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。

使用できる周辺機器については、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内にある「カタログ」をご覧ください。

使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

商標および著作権について

Citrix、Citrix XenDesktopおよびCitrix XenAppは、Citrix Systems,Inc.の米国あるいはその他の国における登録商標です。

VMwareおよびVMware Viewは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2012

1

第1章

本パソコンの特長

本パソコンの特長について説明しています。

1.1 運用面、セキュリティ面に優れたシンクライアント	8
1.2 管理ツール	9
1.3 不正使用からのセキュリティ	10
1.4 パソコンの盗難防止	11

1.1 運用面、セキュリティ面に優れたシンククライアント

シンククライアントとは、パソコン側（クライアント側）に最低限の機能しかもたせず、サーバー側でソフトウェアやデータなどの資源を一元管理するシステムの総称です。本パソコンは、このようなシステムへの適用を前提とした製品です。本パソコンはハードディスクをもたず、ソフトウェアのインストールや実行、データの保管はすべてサーバー上で行うため従来のパソコンに比べて次のような特長があります。

■ ユーザーやソフトウェアを管理しやすい

- サーバーへのログオンが必須となるため、サーバー側でクライアント（ユーザー）を一元管理できます。
- ソフトウェアはすべてサーバーにインストールされるため、ソフトウェアもサーバー側で一元管理できます。これにより次のようなことが可能となります。
 - ・ 各クライアントでソフトウェアのバージョンが違うことによるトラブルの防止
 - ・ ソフトウェアの変更やバージョンアップにかかるコストの大幅な削減
 - ・ 管理外ソフトウェアの無断インストールを防止
 - ・ ウイルスなどの対策をサーバー側で一元管理

■ 故障などによるデータ消失のリスクを軽減

- データはすべてサーバー側に保存されるため、パソコンの故障によるデータの損失がありません。

■ 情報漏えいに強い

- データはすべてサーバー側に保存されるため、盗難に遭った場合でも情報漏えいのリスクがありません。
- 外部記憶媒体による情報漏えいを防ぐために、OSの機能を使用してUSBメモリやメモリーカードなどの使用を制限できます。
- セキュリティ設定はサーバー側で行うため、セキュリティポリシーの管理・変更などが容易になります。また、個々のクライアント上での設定ミスが防げます。

1.2 管理ツール

本パソコン（クライアント側）をご購入のお客様には、サーバー側で使用する管理ツールをご用意しています。この管理ツールには次のような特長があります。

■ 管理が簡単に行えます

- クライアント側の管理ツールへの登録が、簡単に行えます。
- クライアント側の設定（システム設定やアプリケーションの登録など）を、リモートで行うことができます。
- クライアント側をOU（Organization Unit）単位の階層レベルで管理でき、各OUごとに異なる設定にできます。
- 管理ツールから、クライアント側のデスクトップ画面を参照したり、電源のオン／オフを行ったり、リモートでメンテナンスを行うことができます。
- クライアント側の修正モジュールの適用やアプリケーションの追加／削除を、リモートで行うことができます。

POINT

- ▶ 詳しくは、『FUTRO管理ツール 管理者ガイド』をご覧ください。

1.3 不正使用からのセキュリティ

ここでは、不正使用からパソコンを守るため、本パソコンで設定できるパスワードや機能などについて説明しています。なお、複数のパスワードや機能を組み合わせることによって、コンピュータの安全性も高まります。

重要

- ▶ コンピューターの修理が必要な場合は、必ずパスワードなどのセキュリティを解除してください。セキュリティがかかった状態では、保証期間にかかわらず修理は有償となります。
- ▶ パスワードは数字だけでなく英字や記号を入れたり、定期的に変更したりするなど、第三者に推測されないように工夫をしてください。

1.3.1 BIOSのパスワード

コンピュータの起動時のパスワードを設定できます。パスワードを知っている人だけがパソコンを起動できます。

1.3.2 インターフェースの制限

OSの機能を使用して、USBポートの有効・無効の制御を行うことができます。設定方法については、『シンクライアント専用OS 管理者ガイド』をご覧ください。

1.4 パソコンの盗難防止

パソコン本体を持ち出しできないようにすることで、盗難や紛失の危険から保護します。

1.4.1 パソコン本体の施錠方法

パソコン本体の盗難防止用ロック取り付け穴に、盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

盗難防止用ロック取り付け穴の場所については、「2章 各部名称」(→P.12)をご覧ください。

POINT

- ▶ 弊社がお勧めするワイヤーロック／盗難防止用品については、ご購入元にご確認ください。

2

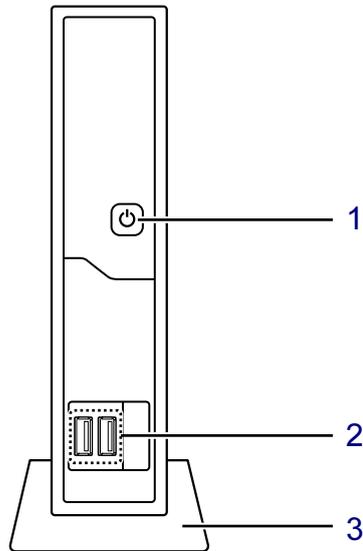
第2章

各部名称

各部の名称と働きについて説明しています。

2.1 パソコン本体前面	13
2.2 パソコン本体背面	14
2.3 キーボード	15

2.1 パソコン本体前面



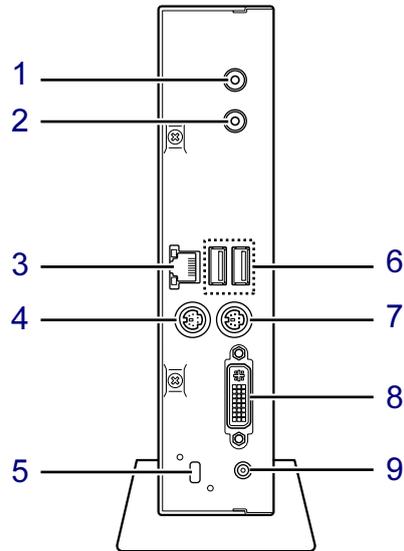
- 1**  **電源ボタン／電源ランプ**
パソコン本体の電源を入れたり、本パソコンの状態を表示したりします。

LEDランプ	本パソコンの状態
点灯	動作状態
消灯	電源オフ

- 2**  **USB2.0コネクタ**
USB2.0に準拠しています。
(→P.20)

- 3** **フット（縦置き用）**
本パソコンをお使いになるときに取り付ける台座です。取り付け方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

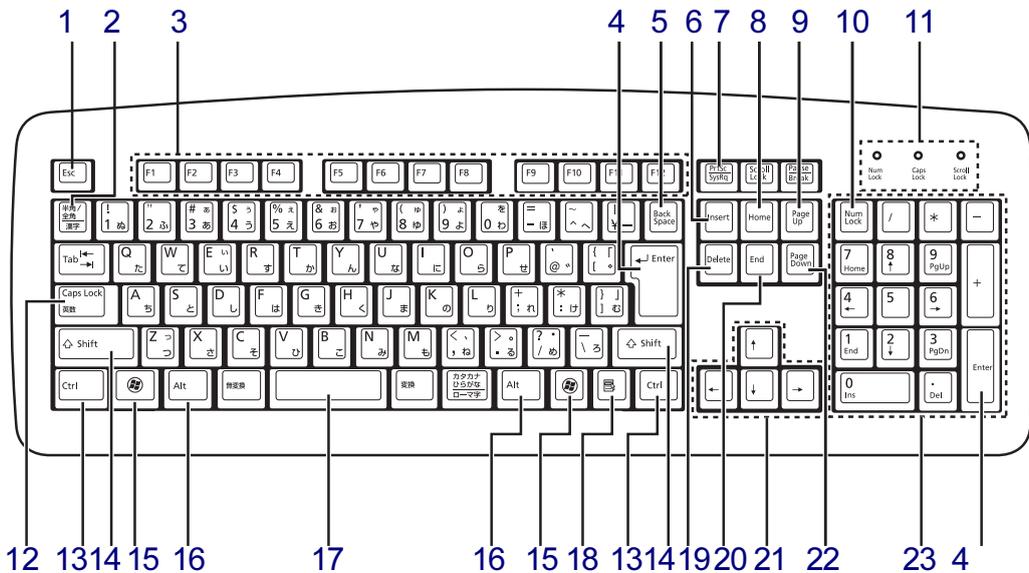
2.2 パソコン本体背面



- | | |
|---|---|
| 1   ヘッドホン・ラインアウト兼用端子 | 6  USB2.0コネクタ
USB2.0に準拠しています。
(→P.20) |
| 2   マイク・ラインイン兼用端子 | 7  キーボードコネクタ |
| 3  LANコネクタ
(→P.21) | 8  デジタルディスプレイコネクタ
(DVI-I)
(→P.19) |
| 4  マウスコネクタ | 9  DC-INコネクタ
添付のACアダプタを接続します。 |
| 5  盗難防止用ロック取り付け穴 | |

2.3 キーボード

対象 キーボード選択時



- 1 【Esc】 キー**
- 2 【半角／全角】 キー**

シンククライアント専用OSでは使用できません。日本語OSの仮想環境に接続した場合のみ使用できます。
日本語入力のオン／オフを切り替えます。
- 3 【F1】 ～ 【F12】 キー**
- 4 【Enter】 キー**
- 5 【Back Space】 キー**
- 6 【Insert】 キー**
- 7 【Print Screen】 キー**
- 8 【Home】 キー**
- 9 【Page Up】 キー**
- 10 【Num Lock】 キー**

テンキーのモードを切り替えます。
- 11 インジケータ**

Num Lock、Caps Lock、Scroll Lockの各機能のオン／オフを表示します。
- 12 【Caps Lock 英数】 キー**

【Shift】 キーを押しながらこのキーを押して、アルファベットの大文字／小文字の入力を切り替えます。
- 13 【Ctrl】 キー**
- 14 【Shift】 キー**
- 15 【】 (Windows) キー**

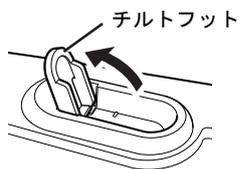
シンククライアント専用OSでは使用できません。日本語OSの仮想環境に接続した場合のみ使用できます。
- 16 【Alt】 キー**
- 17 【Space】 キー**
- 18 【】 (アプリケーション) キー**

シンククライアント専用OSでは使用できません。日本語OSの仮想環境に接続した場合のみ使用できます。
マウスの右クリックと同じ役割をします。
- 19 【Delete】 キー**
- 20 【End】 キー**
- 21 カーソルキー**
- 22 【Page Down】 キー**
- 23 テンキー**

「Num Lock」 インジケータ点灯時に数字が入力できます。
「Num Lock」 インジケータ消灯時にキー下段に刻印された機能が有効になります。

■ キーボードの角度調節

キーボードの底面には、チルトフットが2ヶ所付いています。
チルトフットを起こすと、キーボードに角度をつけることができます。



3

第3章

周辺機器

周辺機器の取り付け方法や注意事項を説明しています。

3.1 周辺機器を取り付ける前に	18
3.2 コネクタの接続／取り外し	19

3.1 周辺機器を取り付ける前に

ここでは、周辺機器を取り付ける前に知っておいていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

3.1.1 注意事項

- 本パソコンに対応している弊社純正品をお使いください。詳しくは、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内にある「カタログ」をご覧ください。
- お使いになる周辺機器のマニュアルもあわせてご覧ください。
- 電源を切った直後は、パソコン本体内部が熱くなっています。電源を切り、電源ケーブルを抜いた後、十分に待ってから作業を始めてください。やけどの原因となります。
- 操作に必要な箇所以外は触らないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け／取り外しは、OSのセットアップが完了してから行ってください。
- 一般的には周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れ、パソコン本体の電源を切ってから周辺機器の電源を切ります。ただし、周辺機器によっては逆の順序が必要な場合があります。詳しくは周辺機器のマニュアルをご覧ください。

3.2 コネクタの接続／取り外し

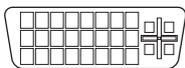
ここでは、周辺機器を接続したり、取り外したりする一般的な方法について説明しています。

接続する周辺機器やケーブルのマニュアルもあわせてご覧ください。また、それぞれのコネクタの仕様については、「8.1 本体仕様」(→P.60)をご覧ください。
必ず「3.1 周辺機器を取り付ける前に」(→P.18)をお読みになってから作業をしてください。

3.2.1 注意事項

- 周辺機器のコネクタの形状によっては、接続できなかつたり、隣接するコネクタに接続された周辺機器と干渉したりする場合があります。周辺機器を接続する前にご確認ください。
- 周辺機器によっては、接続したり取り外したりするときに、コネクタの仕様にかかわらずパソコン本体の電源を切る必要があるものがあります。詳しくは周辺機器のマニュアルをご覧ください。

3.2.2 ディスプレイコネクタ



デジタルディスプレイコネクタ (DVI-I)

ディスプレイを接続します。パソコン本体の電源を切ってから接続してください。

重要

- ▶ アナログディスプレイを接続する場合は、DVI-VGA変換アダプタを使用してください。

■ 接続する

- 1 パソコン本体の電源を切ります。
- 2 ディスプレイコネクタに、ディスプレイのケーブルを接続します。

重要

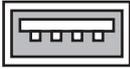
- ▶ コネクタの形を互いに合わせまっすぐに差し込んでから、コネクタのネジを締めてください。

- 3 ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れます。

■ 取り外す

- 1 パソコン本体の電源を切ってから、ディスプレイの電源を切ります。
- 2 コネクタのネジを緩め、ケーブルのコネクタをまっすぐに引き抜きます。

3.2.3 USBコネクタ



USB対応周辺機器を接続します。パソコン本体の電源を入れたまま接続、取り外しできます。

■ 接続する

- 1 USBコネクタに、USB対応周辺機器のケーブルを接続します。
コネクタの形を互いに合わせまっすぐに差し込んでください。

■ 取り外す

- 1 画面右下の通知領域にある「USB properties」アイコン  を右クリックします。
- 2 取り外すデバイスをクリックし、「Remove safely」をクリックします。
- 3 ケーブルのコネクタをまっすぐに引き抜きます。

3.2.4 オーディオ端子

オーディオ機器を接続します。パソコン本体の電源を入れたまま接続、取り外しできます。

重要

- ▶ マイク・ラインイン兼用端子にオーディオ機器を接続したり取り外したりするときは、オーディオ機器の再生音量を小さくするか、再生を停止してください。

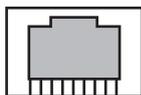
■ 接続する

- 1 ヘッドホン・ラインアウト兼用端子またはマイク・ラインイン兼用端子に、オーディオ機器のケーブルを接続します。
まっすぐに差し込んでください。

■ 取り外す

- 1 ケーブルのコネクタをまっすぐに引き抜きます。

3.2.5 LANコネクタ



LANケーブルを接続します。パソコン本体の電源を入れたまま接続、取り外しできます。ただし、電源を入れたまま接続すると、LANが使用可能になるまで時間がかかる場合があります。LEDの意味は、次のとおりです。



	上部LED (Speed)	下部LED (Link/Act)
1000MbpsでLinkを確立	オレンジ色点灯	緑色点灯 ^注
100MbpsでLinkを確立	緑色点灯	緑色点灯 ^注
10MbpsでLinkを確立	消灯	緑色点灯 ^注

注：データ転送中は緑色点滅

重要

- ▶ 1000BASE-Tの通信を行うためには、1000BASE-Tに対応したネットワーク機器とエンハンスドカテゴリ5（カテゴリ5E）以上のLANケーブルを使用してください。

■ 接続する

- 1 LANコネクタにネットワーク機器のケーブルを接続します。
コネクタの形を互いに合わせ、「カチッ」と音がするまでまっすぐに差し込んでください。

■ 取り外す

- 1 コネクタのツメを押さえながら、まっすぐに引き抜きます。

4

第4章

ソフトウェア

本パソコンにプレインストールされているソフトウェアの概要を説明しています。

4.1 ソフトウェアの紹介	23
---------------------	----

4.1 ソフトウェアの紹介

ここでは、本パソコンにプレインストールされているソフトウェアの概要を説明しています。

名称	概要
ICA client	Citrix XenDesktopおよびCitrix XenAppに接続するためのソフトウェアです。 サーバー上でソフトウェアや仮想デスクトップを動作させ、本パソコン上には画面情報のみを転送し表示させます。 そのため、本パソコンでは実データをもちません。
Mozilla Firefox Browser	本パソコンにはMozilla Firefox Browserが搭載されていますが、Citrix XenDesktopやCitrix XenAppのWebインターフェースでの使用を主な用途として想定しています。 セキュリティの一元管理の観点からも、インターネットの閲覧には「RDP client」、「ICA client」、または「VMware View Client」を使用し、サーバー側のWindows Internet Explorer [®] を使用することをお勧めします。
RDP client	Windows搭載のパソコンやサーバーに、リモートデスクトップ接続するためのソフトウェアです。
VMware View Client	VMware Viewに接続するためのソフトウェアです。 サーバー上で仮想デスクトップを動作させ、本パソコン上には画面情報のみを転送し表示させます。そのため、本パソコンでは実データをもちません。

■ 添付ディスクについて

本パソコンには、次のアプリケーションが格納されている「FUTRO A300 Software Disk」が添付されています。

- StickWizz.exe（リカバリツール）／リカバリデータ
詳しくは、『取扱説明書』をご覧ください。
- FUTRO管理ツール
詳しくは、『FUTRO管理ツール 管理者ガイド』をご覧ください。
- FUTRO管理ツール用 コンテナ
詳しくは、『FUTRO管理ツール 管理者ガイド』をご覧ください。
- WakeOnLanServer
詳しくは、『FUTRO管理ツール 管理者ガイド』をご覧ください。

これらのアプリケーションは、本パソコンに直接インストールするものではありません。
Windowsを搭載したサーバー／パソコン上で動作します。

5

第5章

BIOS

BIOS セットアップについて説明しています。

5.1	BIOS セットアップ	25
5.2	BIOS セットアップの操作のしかた	26
5.3	メニュー詳細	29
5.4	設定事例集	36

5.1 BIOSセットアップ

BIOSセットアップは、メモリや内蔵フラッシュメモリなどのハードウェアの環境を設定するためのプログラムです。

本パソコンご購入時には、すでに最適なハードウェア環境に設定されています。次のような場合にBIOSセットアップの設定を変更します。

- ・ 特定の人だけが本パソコンを利用できるように、本パソコンにパスワードを設定するとき
- ・ 起動デバイスを変更するとき
- ・ Resume on LANの設定を変更するとき
- ・ 起動時の自己診断（POST）にBIOSセットアップをうながすメッセージが表示されたとき

重要

- ▶ BIOSセットアップは正確に設定してください。
設定を間違えると、本パソコンが起動できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。
このような場合には、変更した設定値を元に戻すか、ご購入時の設定に戻して本パソコンを再起動してください。
- ▶ 起動時の自己診断中は、電源を切らないでください。

5.2 BIOSセットアップの操作のしかた

ここでは、BIOSセットアップの起動と終了、および基本的な操作方法について説明しています。

5.2.1 BIOSセットアップを起動する

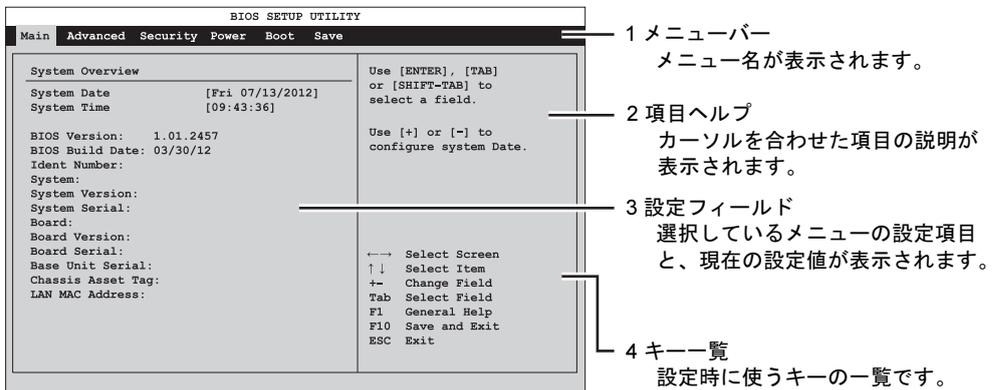
- 1 本パソコンの電源を入れます。
- 2 「FUJITSU」のロゴが表示されている間に【F2】キーを押します。

POINT

- ▶ OSが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。
- ▶ 「FUJITSU」のロゴが表示されない場合は、再起動後、BIOSセットアップ画面が表示されるまで【F2】キーを何度か押してください。

5.2.2 BIOSセットアップ画面

BIOSセットアップ画面の各部の名称と役割は、次のとおりです。
各項目についての説明は「項目ヘルプ」を、操作方法は「5.2.3 各キーの役割」(→P.27)をご覧ください。



5.2.3 各キーの役割

BIOSセットアップで使う、主なキーの役割は次のとおりです。

キー	役割
【F1】キー	BIOSセットアップで使用するキーについて説明しているヘルプ画面が表示されます。 閉じる場合は、【Esc】キーまたは【Enter】キーを押します。
【←】【→】キー	メニューを切り替えます。
【↑】【↓】キー	設定する項目にカーソルを移動します。 【Page Down】【Page Up】キーを押すと、ページ単位でカーソルを移動することができます。
【-】【+】キー	各項目の設定値を変更します。
【Esc】キー	変更を保存せずにBIOSセットアップを終了します。 サブメニューが表示されている場合は、1つ前の画面が表示されます。
【Enter】キー	<ul style="list-style-type: none">▶が付いている項目にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、サブメニューが表示されます。設定値にカーソルを合わせて【Enter】キーを押すと、設定値の一覧が表示され、設定値を選択できます。
【F7】キー	変更前の値を読み込みます。
【F9】キー	標準設定値を読み込みます。
【F10】キー	変更した設定値を保存してBIOSセットアップを終了します。

5.2.4 BIOSセットアップを終了する

■ 変更を保存して終了する

- 1 「Exit」メニューを選択します。
- 2 「Save Changes and Exit」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認メッセージが表示されます。
- 3 「OK」を選択し、【Enter】キーを押します。
BIOSセットアップが終了し、パソコンが再起動します。

■ 変更を保存せずに終了する

- 1 「Exit」メニューを選択します。
- 2 「Discard Changes and Exit」または「Discard Changes」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認メッセージが表示されます。
- 3 「OK」を選択し、【Enter】キーを押します。
BIOSセットアップが終了し、パソコンが再起動します。

5.2.5 起動メニューを使用する

起動するデバイスを選択して本パソコンを起動します。

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- 2 「FUJITSU」のロゴが表示されている間に【F12】キーを押します。
パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力（→P.37）し、すぐに【F12】キーを押してください。
起動メニューが表示されます。

POINT

- ▶ OSが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。
- ▶ 「FUJITSU」のロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューが表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

- 3 カーソルキーで起動するデバイスを選択し、【Enter】キーを押します。
選択したデバイスから本パソコンが起動します。

POINT

- ▶ 起動メニューを終了して通常の方法で起動する場合は、【Esc】キーを押してください。

5.3 メニュー詳細

ここでは、BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
Main (→P.30)	BIOSやパソコン本体、日時についての情報が表示されます。
Advanced (→P.31)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
Security (→P.32)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
Power (→P.33)	停電復旧時の動作や、Resume on LAN機能などを設定します。
Boot (→P.34)	OSを読み込むデバイスの優先順位などを設定します。
Exit (→P.35)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

5.3.1 Mainメニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。

設定項目	備考
System Date Thu 01/01/1998 ~ Thu 12/31/2099	システム日付 ・【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 ・【Shift】＋【Tab】キー……左の項目に移動 ・曜日は日付と連動して変更されます。 ※注
System Time 00 : 00 : 00 ~ 23 : 59 : 59	システム時刻 ・【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 ・【Shift】＋【Tab】キー……左の項目に移動 ※注
BIOS Version	BIOS 版数
BIOS Build Date	
Ident Number	カスタムメイド番号
System	型名
System Version	
System Serial	製造番号
Board	
Board Version	
Board Serial	
Base Unit Serial	
Chassis Asset Tag	
LAN MAC Address	内蔵LANのMACアドレス

注 BIOSで表示される日時は、UTC (GMT) で表示されます。
詳しくは、『FUTRO管理ツール 管理者ガイド』をご覧ください。

5.3.2 Advancedメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
Advanced Settings	
High Performance Event Timer <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	
VGA Configuration	
VGA Frame Buffer Size <input type="checkbox"/> 8MB <input type="checkbox"/> 16MB <input type="checkbox"/> 32MB <input type="checkbox"/> 64MB <input checked="" type="checkbox"/> 128MB <input type="checkbox"/> 256MB <input type="checkbox"/> 512MB	
USB Configuration	USB設定
Legacy USB Support <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Auto	USBレガシーサポート
USB Keyboard Legacy Support <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	・「Legacy USB Support」が「Enabled」時のみ設定可能
USB Mouse Legacy Support <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	・「Legacy USB Support」が「Enabled」時のみ設定可能
USB Storage Legacy Support <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	・「Legacy USB Support」が「Enabled」時のみ設定可能
USB Mass Storage Device Configuration	
Device	・USBマスタストレージデバイスを接続している場合のみ表示
Emulation Type <input checked="" type="checkbox"/> Auto <input type="checkbox"/> Floppy <input type="checkbox"/> Forced FDD <input type="checkbox"/> Hard Disk <input type="checkbox"/> CDROM	・USBマスタストレージデバイスを接続している場合のみ表示
Peripheral Configuration	周辺機器設定
SATA Controller <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	
Audio Controller <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	
LAN Controller <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	
Event Log Configuration	※注
View Event Log	
Mark all events as read	
Clear Event Log	

注 イベントログで表示される日時は、UTC (GMT) で表示されます。
詳しくは、『FUTRO管理ツール 管理者ガイド』をご覧ください。

5.3.3 Securityメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
Security Settings	
Supervisor Password	管理者用パスワードの設定状況
User Password	ユーザー用パスワードの設定状況
Change Supervisor Password > Enter	管理者用パスワード設定 「5.4.1 BIOSのパスワード機能を使う」(→P.36)
User Access Level <input type="checkbox"/> No Access <input type="checkbox"/> View Only <input type="checkbox"/> Limited <input checked="" type="checkbox"/> Full Access	アクセスレベル ・管理者用パスワード設定時のみ表示、設定可能
Change User Password > Enter	ユーザー用パスワード設定 ・管理者用パスワード設定時のみ表示、設定可能
Password Check <input checked="" type="checkbox"/> Setup <input type="checkbox"/> Always	パスワード入力設定 ・管理者用パスワード設定時のみ表示、設定可能 ・「Setup」…BIOSセットアップ起動時にパスワード入力を使用する場合に設定 ・「Always」…パソコン(OS、BIOSセットアップ)起動時にパスワード入力を使用する場合に設定
Virus Warning <input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
Boot from USB Devices <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	
Flash Write <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	

5.3.4 Powerメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
Power Management Settings	電源管理設定
ACPI Standby State <input type="checkbox"/> S1 <input checked="" type="checkbox"/> S3 <input type="checkbox"/> S1 & S3	
Power LED In Standby <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	スタンバイ時に電源LEDをオフする設定
Power Button Mode <input checked="" type="checkbox"/> On/Off <input type="checkbox"/> Standby <input type="checkbox"/> Suspend	
Power Failure Recovery <input type="checkbox"/> Always Off <input type="checkbox"/> Always On <input checked="" type="checkbox"/> Previous State	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定変更は再起動後に有効 ・ 「Always Off」…通電再開時に一瞬電源が入り、Resume On LANなどを初期化。その後電源OFF。 ・ 「Previous State」…電源断発生時の状態による。起動中、スリープは「Always On」シャットダウン、休止状態は「Always Off」
Resume On USB Device <input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
Resume On LAN <input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
Resume On PS/2 Keyboard <input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
Wake-Up Key <input checked="" type="checkbox"/> Any Key <input type="checkbox"/> Ctrl+Alt+Backspace <input type="checkbox"/> Ctrl+F12	・ 「Resume On PS/2 Keyboard」が「Enabled」時のみ設定可能
Resume On PS/2 Mouse <input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
Resume On RTC Alarm <input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	

5.3.5 Bootメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
Boot Settings	
Boot Device Priority	起動デバイスの優先順
1st Boot Device <input checked="" type="checkbox"/> SATA:PM-1GB CompactFlash Card <input type="checkbox"/> Network:VIA Networking Bootagent <input type="checkbox"/> Disabled	
2nd Boot Device <input type="checkbox"/> SATA:PM-1GB CompactFlash Card <input checked="" type="checkbox"/> Network:VIA Networking Bootagent <input type="checkbox"/> Disabled	
Hard Disk Drives	
1st Drive <input checked="" type="checkbox"/> SATA:PM-1GB CompactFlash Card <input type="checkbox"/> Disabled	
Network Drives	
1st Drive <input checked="" type="checkbox"/> Network:VIA Networking Bootagent <input type="checkbox"/> Disabled	
Boot Settings Configuration	
Fast Boot <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	
Boot Menu <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	
Quiet Boot <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	起動時のロゴ表示
Bootup Num-Lock <input type="checkbox"/> Off <input checked="" type="checkbox"/> On	起動時のNumlock設定
Halt On POST Errors <input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled	

5.3.6 Exitメニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
Exit Options	
Save Changes and Exit	変更を保存して終了する
Discard Changes and Exit	変更を保存せずに終了する
Discard Changes	変更前の値を読み込む
Load Optimal Defaults	標準設定値を読み込む
Load Failsafe Defaults	

5.4 設定事例集

ここでは、よく使われる設定について、その設定方法を記載しています。お使いの状況に合わせてご覧ください。

- ・ BIOSのパスワード機能を使う (→P.36)
- ・ 起動デバイスを変更する (→P.38)
- ・ Resume on LANを有効にする (→P.38)
- ・ ご購入時の設定に戻す (→P.39)

5.4.1 BIOSのパスワード機能を使う

■ パスワードの種類

本パソコンで設定できるパスワードは次のとおりです。

□ 管理者用パスワード (Supervisor Password)

システム管理者用のパスワードです。パスワード機能を使う場合は、必ず設定してください。

□ ユーザー用パスワード (User Password)

一般利用者用のパスワードです。管理者用パスワードが設定されている場合のみ設定できます。

POINT

- ▶ 管理者用パスワードが削除された場合、ユーザー用パスワードも削除されます。

■ パスワードを設定／変更／削除する

重要

- ▶ 「管理者用パスワード」を変更するには、BIOSセットアップを「管理者用パスワード」で起動する必要があります。
- ▶ 「ユーザー用パスワード」を設定するには、「管理者用パスワード」が設定されている必要があります。

- 1** 本パソコンの電源が入っている場合は、シャットダウンします。
- 2** BIOSセットアップを起動します (→P.26)。
- 3** 「Security」メニューで次の項目を選択し、【Enter】キーを押します。
 - ・ 「Change Supervisor Password」(管理者用パスワードの場合)
 - ・ 「Change User Password」(ユーザー用パスワードの場合)
- 4** すでにパスワードが設定されている場合は、現在のパスワードを入力します。「Enter New Password」が表示されます。

5 新しいパスワード（1～6桁）を入力します。

パスワードを削除する場合は、何も入力せずに【Enter】キーを押します。
「Confirm New Password」が表示されます。

POINT

- ▶ パスワードには、アルファベットと数字および記号を使用できます。また、大文字、小文字は区別されません。
- ▶ 入力した文字は表示されず、代わりに「*」が表示されます。

6 手順5で入力したパスワードをもう一度入力します。

パスワードが変更されます。

POINT

- ▶ 再入力したパスワードが間違っていた場合は、警告メッセージが表示されます。
【Enter】キーを押してウィンドウを消去し、手順3からやり直してください。

7 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。

「5.2.4 BIOSセットアップを終了する」(→P.28)

■ パスワードを使用する

設定したパスワードは、BIOSセットアップの設定により、次の場合に入力が必要になります。

POINT

- ▶ 誤ったパスワードを3回入力すると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、電源ボタンを押して本パソコンの電源を切ってください。その後、10秒以上待ってからもう一度電源を入れて、正しいパスワードを入力してください。

- BIOSセットアップを起動するとき
- 本パソコンを起動するとき

次の入力画面が表示されたら、管理者用パスワードまたはユーザー用パスワードを入力してください。



Enter CURRENT Password:

■ パスワードを忘れてしまったら

□ 対処が可能な場合

ユーザー用パスワードを忘れてしまった場合は、管理者用パスワードを削除すると、ユーザー用パスワードも削除されます。

□ 対処が不可能な場合

管理者用パスワードを忘れてしまった場合は、修理が必要です。「富士通ハードウェア修理相談センター」またはご購入元にご連絡ください。修理は保証期間にかかわらず、有償になります。

5.4.2 起動デバイスを変更する

本パソコンの起動時にOSを読み込むデバイスの順序は、「Boot」メニューの「Boot Device Priority」で設定します。

「1st Boot Device」～「2nd Boot Device」に設定されている順にOSを検索します。

- 1 「Boot」メニューを選択します。
- 2 「Boot Device Priority」を選択し、【Enter】キーを押します。
- 3 設定を変更したい順位を選択し、【Enter】キーを押します。
- 4 設定したいデバイスを選択し、【Enter】キーを押します。
選択したデバイスの順位が入れ替わります。
- 5 希望する順番になるまで手順3～4を繰り返します。
- 6 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「5.2.4 BIOSセットアップを終了する」(→P.28)

5.4.3 Resume on LANを有効にする

Resume on LAN機能とは、他のコンピューターから有線LAN経由で本パソコンを起動する機能です。

- 1 「Power」メニューを選択します。
- 2 「Resume On LAN」を選択し、【Enter】キーを押します。
- 3 「Enabled」を選択し、【Enter】キーを押します。
- 4 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「5.2.4 BIOSセットアップを終了する」(→P.28)

5.4.4 イベントログを確認する

- 1 「Advanced」メニューを選択します。
- 2 「Event Log Configuration」を選択し、【Enter】キーを押します。
- 3 「View Event Log」を選択し、【Enter】キーを押します。
記録されているイベントログが表示されます。

POINT

- ▶ イベントログで表示される日時は、UTC (GMT) で表示されます。
詳しくは、『FUTRO管理ツール 管理者ガイド』をご覧ください。

5.4.5 ご購入時の設定に戻す

- 1 「Exit」メニューを選択します。
- 2 「Load Optimal Defaults」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認メッセージが表示されます。
- 3 「OK」を選択して【Enter】キーを押します。
次の項目を除くすべての設定が、ご購入時の設定値に戻ります。
 - 「Load Optimal Defaults」で変更されない項目
 - ・日時の設定 (System Date / System Time)
 - ・管理者用パスワード (Supervisor Password)
 - ・ユーザー用パスワード (User Password)
- 4 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「5.2.4 BIOSセットアップを終了する」(→P.28)



第6章

お手入れ

快適にお使いいただくためのお手入れ方法を説明しています。

6.1 日常のお手入れ	41
-------------------	----

6.1 日常のお手入れ

パソコン本体や周辺機器を長時間ご使用になると、汚れが付いたり、ほこりがたまっていきます。ここでは、日常のお手入れのしかたを説明しています。

6.1.1 パソコン本体、キーボード、マウスの表面の汚れ

乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。

重要

- ▶ 拭き取るときは、内部に水が入らないよう十分に注意してください。
- ▶ シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは使わないでください。損傷する原因となります。

■ キーの間のほこり

キーボードのキーの間のほこりは、柔らかいブラシなどを使って取り除いてください。

重要

- ▶ ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となります。
- ▶ 掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
- ▶ 毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となります。



第7章

トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

7.1	トラブル発生時の基本操作	43
7.2	よくあるトラブルと解決方法	46
7.3	それでも解決できないときは	58

7.1 トラブル発生時の基本操作

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時に対応していただきたい順番に記載しています。

7.1.1 状況を確認する

トラブルが発生したときは、直前に行った操作や現在のパソコンの状況を確認しましょう。

■ メッセージなどが表示されたら控えておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモ帳などに控えておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■ パソコンや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まずパソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？また緩んだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- OAタップを使用している場合、OAタップ自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- 使用する装置の電源はすべて入っていますか？
ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（サーバー本体やハブなど）の接続や電源も確認してください。
- キーボードの上にものを載せていませんか？
キーが押され、パソコンが正常に動作しないことがあります。

このほか、「7.2.2 起動・終了時のトラブル」(→P.48)の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

7.1.2 以前の状態に戻す

周辺機器の取り付けやソフトウェアのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いったん以前の状態に戻してください。

周辺機器を取り付けた場合は、取り外してください。

7.1.3 トラブルシューティングで調べる

「7.2 よくあるトラブルと解決方法」(→P.46)は、よくあるトラブルの解決方法が記載されています。発生したトラブルの解決方法がないかご覧ください。

7.1.4 インターネットで調べる

よくあるQA一覧ページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/qalist/index.html>)では、本パソコンで発生したトラブルの解決方法を提供しています。

また、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html)では、本パソコンに関連したサポート情報や更新されたドライバーを提供しております。注意事項や補足情報も公開していますので、解決方法がないかご覧ください。

7.1.5 診断プログラムを使用する

診断プログラムを使用して、ハードウェアに障害が発生していないか診断してください。診断後にエラーコードが表示された場合は控えておき、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。

診断時間は10～15分程度ですが、診断する内容やパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

重要

- ▶ BIOSの設定をご購入時の状態に戻してください。
診断プログラムを使用する前に、必ず、BIOSをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「5.4.5 ご購入時の設定に戻す」(→P.39)をご覧ください。
- ▶ 診断プログラムを使用する前に周辺機器を取り外してください。
USBメモリや外付けハードディスクなど、ハードディスクやリムーバブルディスクと認識される周辺機器は、診断を行う前に取り外してください。

1 本パソコンの電源を入れます。

2 「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。

起動メニューが表示されます。

POINT

- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力し、すぐに【F12】キーを押してください。
- ▶ 起動メニューが表示されずOSが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。
- ▶ 「FUJITSU」ロゴが表示されない場合は、再起動後、起動メニューが表示されるまで【F12】キーを何度か押してください。

3 カーソルキーで「Diagnostic Program」を選択し、【Enter】キーを押します。

「診断プログラムを実行しますか？」と表示されます。

4 【Y】キーを押します。

ハードウェア診断が始まります。

ハードウェア診断が終了したら、診断結果が表示されます。診断結果が表示される前に、自動的にパソコンが再起動する場合があります。

5 次の操作を行います。

●トラブルが検出されなかった場合

【Enter】キーを押してください。

●トラブルが検出された場合

画面に表示された内容を控え、お問い合わせのときにお伝えください。その後、

【Y】キーを押してパソコンの電源をお切りください。

7.1.6 ファクトリーリセット

ご購入時の設定に戻す機能です。ライセンスや管理設定を除くすべての設定およびファイルが削除されます。シンクライアントがローカルで構成されている環境で構成エラーが発生した場合のトラブルシューティングとして役立ちます。詳しくは、『シンクライアント専用OS管理者ガイド』をご覧ください。

7.1.7 サポートの窓口相談する

本章をご覧になり、トラブル解決のための対処をした後も回復しない場合には、「7.3 それでも解決できないときは」(→P.58) をご覧になりサポートの窓口にご相談してください。

7.2 よくあるトラブルと解決方法

7.2.1 トラブル一覧

■ 起動・終了時のトラブル

- 「電源が入らない」 (→P.48)
- 「ビープ音が鳴った」 (→P.48)
- 「メッセージが表示された」 (→P.48)
- 「画面に何も表示されない」 (→P.49)
- 「OSが動かなくなってしまう、電源が切れない」 (→P.49)

■ ソフトウェア関連のトラブル

- 「CitrixのXenAppに接続するときに、メッセージが表示される場合がある」 (→P.49)
- 「FUTRO管理ツールのインストールをUSBメモリや添付のDVDディスクから行くと、メッセージが表示されてインストールが終了する」 (→P.50)
- 「VMwareViewClient (PCoIPプロトコル使用時)で接続した仮想デスクトップからログオフした後に、本体キーボードの「Num Lock」インジケータがオフに変更される」 (→P.50)
- 「仮想デスクトップ使用時のメディアリダイレクト機能が使用できない」 (→P.50)
- 「XenDesktopの仮想デスクトップ接続中にネットワークが切断したとき、仮想デスクトップの画面が表示されたまま操作ができなくなった」 (→P.50)

■ ハードウェア関連のトラブル

□ BIOS

- 「BIOSで設定したパスワードを忘れてしまった」 (→P.52)

□ LAN

- 「ネットワークに接続できない」 (→P.52)
- 「通信速度が遅い」 (→P.52)

□ ディスプレイ

- 「画面に何も表示されない」 (→P.53)
- 「表示が乱れる」 (→P.53)

□ サウンド

- 「スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる」 (→P.53)
- 「マイクからうまく録音ができない」 (→P.53)

□ ポインティングデバイス

- 「マウスポインターが動かない、正しく動作しない」 (→P.54)

□ **USB**

- 「USBデバイスが使えない」 (→P.54)

□ **プリンター**

- 「プリンターを使用できない」 (→P.54)

□ **その他**

- 「「ジー」「キーン」という音がする」 (→P.55)
- 「XTERMで使えないコマンドがある」 (→P.55)
- 「Emulationが使えない」 (→P.55)

7.2.2 起動・終了時のトラブル

電源が入らない

- ACアダプタは接続されていますか？
- 電源スイッチのあるOAタップをお使いの場合、OAタップの電源は入っていますか？

ビープ音が鳴った

- 電源を入れた後の自己診断（POST）時に、ビープ音が1回鳴った。
本パソコンは、起動するたびにビープ音が1回鳴ります。故障ではありません。
- 電源を入れた後の自己診断（POST）時に、ビープ音が2回鳴った。
本パソコンは、パスワード入力画面が表示されるときにビープ音が2回鳴ります。故障ではありません。
- 上記の状況以外で、エラーを検出したときにビープ音が鳴る場合があります。
ビープ音によるエラー通知は、「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」のように、1回または連続したビープ音の組み合わせにより行われます。
ビープ音が鳴る原因は、次のとおりです。
 - ・メモリが認識できない
メモリが正しく取り付けられていません。

上記のことを確認してもビープ音が鳴る場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

メッセージが表示された

- 電源を入れた後の自己診断（POST）時に、画面にメッセージが表示される場合があります。「■ 起動時に表示されるエラーメッセージ」（→P.56）で該当するメッセージを確認し、記載されている処置に従ってください。
一部のメッセージはBIOSイベントログに記録され、BIOSセットアップから確認できます。「■ BIOSイベントログに記録されるエラーメッセージ」（→P.57）をご覧ください。

上記の処置をしてもまだエラーメッセージが発生する場合は、本パソコンが故障している可能性があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

画面に何も表示されない

- 電源ランプが点灯していますか？
電源ボタンを押して動作状態にしてください。それでも、画面が表示されない場合は「電源が入らない」(→P.48)をご覧ください。
- PS/2キーボードのインジケータが点滅していますか？
メモリが正しく取り付けられていない可能性があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- ディスプレイに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ディスプレイケーブルのコネクタのピンが破損していませんか？
 - ・ディスプレイのブライトネス/コントラストボリュームは、正しく調節されていますか？
 - ・デジタルディスプレイや複数台のディスプレイを接続している場合、パソコン本体の電源を入れる前に、ディスプレイの電源を入れていますか？
必ずパソコン本体の電源を入れる前にディスプレイの電源を入れてください。
パソコン本体の電源を入れた後にディスプレイの電源を入れると、画面が表示されないことがあります。そのような場合は、いったん電源を切ってから入れ直してください。

OSが動かなくなってしまう、電源が切れない

- 電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

重要

- ▶ 強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。

7.2.3 ソフトウェア関連のトラブル

CitrixのXenAppに接続するときに、メッセージが表示される場合がある

- 次のメッセージが表示された場合でも、仮想環境上で運用を行うため文字コードの変換は必要ありません。
「OK」をクリックして続行してください。
Do you want continue without the character conversion?
Your computer cannot convert characters from "xxx" to "xxx"



FUTRO管理ツールのインストールをUSBメモリや添付のDVDディスクから行くと、メッセージが表示されてインストールが終了する

- 次のメッセージが表示された場合は、FUTRO管理ツールが正しくインストールされていません。

The Scout Enterprise service can not be started

Error on database command

アンインストール後、FUTRO管理ツールのインストールフォルダーをインストールするコンピューターのハードディスク上にコピーし、ハードディスク上からインストールを行ってください。



VMwareViewClient (PCoIPプロトコル使用時) で接続した仮想デスクトップからログオフした後に、本体キーボードの「Num Lock」インジケータがオフに変更される

- 【Num Lock】キーを押してください。



仮想デスクトップ使用時のメディアリダイレクト機能が使用できない

- 次の機能は、本パソコンのOS上にコーデックファイルが含まれていないため、弊社ではサポートしておりません。
 - ・ ICA Clientの「Windows Media Redirection」機能
 - ・ ICA Clientの「Flash Redirection」機能
 - ・ VMware View Clientの「Multi Media Redirection」機能



XenDesktopの仮想デスクトップ接続中にネットワークが切断したとき、仮想デスクトップの画面が表示されたまま操作ができなくなった

- 電源ボタンを押して、本パソコンの電源を切ってください。
次の設定を行うことで、ネットワーク切断時に切断をうながすメッセージを表示させることができ、仮想デスクトップから切断できるようになります。
 1. XTERMで「wfcmgr」を起動するとICA Clientの設定画面が表示されます。
 2. 設定画面で「Auto reconnect」の設定を行い、「OK」をクリックします。



XenAppの公開アプリケーションのウィンドウを本パソコンのデスクトップ上で移動すると、エラーダイアログが表示される

- 次のメッセージが表示されます。

The X Request 62.0 caused.
error: "8:BadMatch (invalid parameter attribute)"

本パソコンで次の設定を行い、問題を回避してください。

- ・ [Setup] → [Screen] → [Color depth] : [High Color]
- ・ [Configuration] → [PN-Agent] → [Advanced] → [Windows color] : [High Color]



XenDesktopの仮想デスクトップに接続し、仮想デスクトップ上のごみ箱やファイルエクスプローラーでファイルをドラッグすると、エラーダイアログが表示される

- 次のメッセージが表示されます。

The X Request 72.0 caused.
error: "8:BadMatch (invalid parameter attribute)"

本パソコンで次の設定を行い、問題を回避してください。

- ・ [Setup] → [Screen] → [Color depth] : [High Color]
- ・ [Configuration] → [XenDesktop] → [Advanced] → [Windows color] : [High Color]



VMwareViewClient (RDPプロトコル使用時) およびRDP-clientで、接続した仮想デスクトップ画面が乱れる場合がある

- VMwareViewClientのウィンドウメニュー [Desktop] で、[Disconnect] を選択して切断してください。

本パソコンで次の設定を行い、問題を回避してください。

- ・ [Setup] → [Screen] → [Color depth] : [High Color]
- ・ [Configuration] → [VMWareView] → [Advanced] → [colors] : [High Color]

7.2.4 ハードウェア関連のトラブル

■ BIOS



BIOSで設定したパスワードを忘れてしまった

- 管理者用パスワードを忘れると、項目の変更やパスワード解除ができなくなります。ハードディスクパスワードを忘れると、内蔵フラッシュメモリが使えなくなったり、内蔵フラッシュメモリのセキュリティ機能を解除できなくなったりします。いずれの場合も修理が必要となります。ユーザー用パスワードを忘れた場合は、修理の必要はありません。詳しくは、「■ パスワードを忘れてしまったら」(→P.37)をご覧ください。

■ LAN



ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
- ネットワークケーブルに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
 - ・使用するネットワーク環境に合ったケーブルをお使いください。

ネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。



通信速度が遅い

- ネットワーク機器の電源を入れてから本パソコンの電源を入れてください。また、本パソコンをご使用中にLANケーブルを抜いたり、ネットワーク機器の電源をオフにしたりしないでください。

ネットワーク機器との接続ができなくなったり、通信速度が極端に低下したりする場合があります。

例：1Gbpsで通信していたのに10Mbpsの速度になる

ネットワーク機器との接続ができない場合は、ネットワーク機器の電源が入っていること、およびLANケーブルで本パソコンとネットワーク機器が接続されていることを確認後、パソコン本体を再起動してください。

■ ディスプレイ

画面に何も表示されない

- 「7.2.2 起動・終了時のトラブル」(→P.48)の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」をご覧ください。

表示が乱れる

- 解像度、発色数、リフレッシュレートが正しく設定されていますか？
『シンクライアント専用OS 管理者ガイド』をご覧ください。正しく設定してください。
外部ディスプレイの場合は、外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 近くにテレビなどの強い磁界が発生するものはありませんか？
強い磁界が発生するものは、ディスプレイやパソコン本体から離して置いてください。

■ サウンド

スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

- 外付けスピーカーに関して、次の項目を確認してください。
 - ・ パソコン本体と正しく接続されていますか？
 - ・ スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・ スピーカーの電源ボタンは入っていますか？
 - ・ 音量ボリュームは正しく調節されていますか？
 - ・ ヘッドホン・ラインアウト兼用端子にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？
- ミュートや音量などを確認してください。
詳しくは、『シンクライアント専用OS 管理者ガイド』をご覧ください。
- 音が割れる場合は、音量を小さくしてください。

マイクからうまく録音ができない

- 音量は調節されていますか？
systray から Volume Control を起動し、音量を調節してください。詳しくは、『シンクライアント専用OS 管理者ガイド』をご覧ください。

■ ポインティングデバイス



マウスポインターが動かない、正しく動作しない

- マウスは正しく接続されていますか？
- オプティカルセンサー部分が汚れていませんか？（光学式マウスおよびレーザー式マウスの場合）
オプティカルセンサー部分をクリーニングしてください。
- キーボードは正しく接続されていますか？
キーボードとマウスをPS/2ポートに接続している場合、キーボードが正しく接続されていなくてもOSは起動しますが、マウスポインターは動きません。キーボードが正しく接続されているか確認してください。
- 次のようなものの上で操作していませんか？（光学式マウスおよびレーザー式マウスの場合）
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

■ USB



USBデバイスが使えない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- USBデバイスがUSBハブを経由して接続されていませんか？
USBハブを経由すると問題が発生する場合があります。USBデバイスを本体のUSBコネクタに直接接続してみてください。
- USBデバイスに不具合はありませんか？
USBデバイスに不具合がある場合、OSが正常に動作しなくなることがあります。パソコンを再起動して、USBデバイスを接続し直してみてください。それでも正常に動作しない場合は、USBデバイスのご購入元にご連絡ください。
- USBメモリやハードディスクなどのUSBデバイスを接続したまま電源を入れると、次のメッセージが表示される場合があります。
Non-system disk or disk error. Replace and press any key when ready.
BIOSの仕様で、USBデバイスを接続すると起動順位が1番になるためです。
USBデバイスを抜いてからキーボードの【Enter】キーを押すと、正常に起動します。

■ プリンター



プリンターを使用できない

- プリンターはご使用になれません。

■ その他

「ジー」「キーン」という音がする

- 静かな場所では、「ジー」「キーン」というパソコン本体内部の電子回路の動作音が聞こえる場合があります。
故障ではありませんので、そのままお使いください。

XTERMで使えないコマンドがある

- マニュアルなどで指示しているコマンド（設定の変更など）以外のご使用は、弊社ではサポートしておりません。

Emulationが使えない

- アプリケーションのEmulation（X11, XDMCP）のご使用は、弊社ではサポートしておりません。

7.2.5 エラーメッセージ一覧

ここでは、本パソコンが表示するメッセージと、その対処方法を説明しています。
エラーメッセージ一覧には、お使いのパソコンに搭載されているハードウェアによっては、表示されないメッセージも含まれています。
本書に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

■ 起動時に表示されるエラーメッセージ

起動時の自己診断（POST）で異常が見つかった場合に表示されるメッセージは、次のとおりです。

メッセージ	解説
C	
CMOS Setting Wrong	BIOS設定が正しくありません。すべてのBIOS設定項目が標準設定値に変更されました。 本パソコンを起動するたびに本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
CMOS Date/Time Not Set	日付／時刻設定が正しくありません。すべてのBIOS設定項目が標準設定値に変更されました。 本パソコンを起動するたびに本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
CMOS Checksum Bad	CMOSチェックサムが間違っています。すべてのBIOS設定項目が標準設定値に変更されました。 本パソコンを起動するたびに本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
P	
Press F2 to run SETUP Press F1 to load default values and continue	POST中にエラーが発生するとOSを起動する前に本メッセージが表示されます。 【F1】キーを押すとOSの起動を開始します。【F2】キーを押すとBIOSセットアップを起動して設定を変更することができます。
Password check failed Fatal Error... System Halted.	誤ったパスワードが3回入力されました。
R	
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	OSが見つかりませんでした。BIOSセットアップでドライブが正しく設定されているか、指定したドライブにOSが入っているかを確認してください。

■ BIOS イベントログに記録されるエラーメッセージ

起動時の自己診断 (POST) で、一部のエラーはBIOS イベントログに記録されます。

BIOS イベントログは、BIOS セットアップの「Advanced」メニューの「View Event Log」から確認できます。

BIOS イベントログに記録されるエラーメッセージは、次のとおりです。

メッセージ	解説
C	
CMOS time not set	日付、時刻が正しく設定されていません。 「System Date」「System Time」の設定を確認してください。
CMOS system options not set	BIOS 設定に間違いが検出されました。BIOS セットアップの各設定を確認し、正しい値に設定し直してください。 なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、内蔵リチウム電池の交換が必要です。「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
CMOS checksum error	CMOS のチェックサムに間違いが検出されました。BIOS セットアップの各設定を確認し、正しい値に設定し直してください。 なお繰り返しこのエラーが記録される場合は、内蔵リチウム電池の交換が必要です。「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
D	
Diagnostic Program found error (Code=nnnnnnnn)	診断プログラムがエラーを検出しました。 診断コードを記録し、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。

7.3 それでも解決できないときは

7.3.1 お問い合わせ先

■ 弊社へのお問い合わせ

故障かなと思われたときや、技術的なご質問・ご相談などについては、『取扱説明書』をご覧ください。弊社までお問い合わせください。



第8章

仕様

本製品の仕様を記載しています。

8.1 本体仕様	60
8.2 ディスプレイ	62

8.1 本体仕様

8.1.1 A300

製品名称		FUTRO A300
CPU ^{注1}	名称	VIA Eden™ ULV
	動作周波数	1.0GHz
	キャッシュメモリ	2次：128KB
チップセット		VIA 社製 VX900
メインメモリ		標準1GB (PC3-8500 DDR3 SDRAM SO-DIMM ECCなし)
メモリスロット		×1 (空きメモリスロット×0)
表示機能	グラフィックスアクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大256MB (メインメモリと共用)
	解像度/発色数	最大1920×1200ドット/最大1677万色
ハードディスクドライブ ^{注2}		なし、OS/アプリ搭載用内蔵フラッシュメモリ1GB ^{注3}
オーディオ機能	オーディオコントローラー	チップセット内蔵+High Definition Audio コーデック
	PCM録音再生機能	サンプリング周波数：最大192kHz、24ビットステレオ (再生時) ^{注4} サンプリング周波数：最大96kHz、16ビットステレオ (録音時) ^{注4} 同時録音再生機能
通信機能	LAN	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠 ^{注5} 、Resume on LAN 対応 ^{注6}
セキュリティ機能	盗難防止用ロック 取り付け穴	あり
インターフェース	外部ディスプレイ	DVI-I 29ピン×1
	キーボード/マウス	PS/2 準拠 ミニ DIN 6ピン×2 (キーボード用×1、マウス用×1)
	USB ^{注7}	USB2.0 準拠×4 (前面×2、背面×2) ^{注8}
	LAN	RJ-45×1
	オーディオ	ヘッドホン・ ラインアウト兼用
マイク・ ラインイン兼用		φ3.5mm ステレオ・ミニジャック×1 マイク入力設定時：入力100mV以下、 入力インピーダンス (AC) 1kΩ以上 (DC) 2kΩ以上 ラインイン設定時：入力1V以下、入力インピーダンス10kΩ以上
電源供給方式	ACアダプタ ^{注9}	本体添付：入力AC100V～240V、出力DC12V (3.0A)
消費電力 ^{注10} (最大時)		約12W (約45W)
外形寸法 (突起部含まず)		W42×D185×H185mm
質量		約1.0kg
電波障害対策		VCCIクラスB
温湿度条件		温度10～35℃/湿度20～80%RH (動作時) 温度-10～60℃/湿度20～80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストールOS		シンクライアント専用OS ^{注11}

本パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

- 注1 : ソフトウェアによっては、CPU名表記が異なる場合があります。
- 注2 : 容量は、1GB=1000³バイト換算値です。
- 注3 : 利用者による書き込みはできません。
- 注4 : 使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。
- 注5 : ・ 1000Mbpsは1000BASE-Tの理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。
・ 1000Mbpsの通信を行うためには、1000BASE-Tに対応したハブが必要となります。また、LANケーブルには、1000BASE-Tに対応したエンハンスドカテゴリ5（カテゴリ5E）以上のLANケーブルを使用してください。
- 注6 : ・ 1000Mbpsのネットワーク速度しかサポートしていないハブでは、Resume on LAN機能は使用できません。
・ Resume on LAN機能を使用する場合は、次の両方でリンク速度とデュプレックス共に自動検出可能な設定（オートネゴシエーション）にしてください。
・ 本パソコンの有線LANインターフェース
・ 本パソコンの有線LANインターフェースと接続するハブのポート
この両方が自動検出可能な設定になっていない場合、本パソコンが電源オフ状態のときにハブやポートをつなぎ変えたり、ポートの設定を変えたりするとResume on LAN機能が動作しない場合があります。
・ 電源オフ状態からのResume on LAN機能を使用するには、「5.4.3 Resume on LANを有効にする」（→P.38）をご覧ください。
- 注7 : すべてのUSB対応周辺機器の動作を保証するものではありません。
- 注8 : 外部から電源が供給されないUSB対応周辺機器を接続するときの消費電流の最大容量は、1ポートにつき500mAです。
詳しくは、USB対応周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- 注9 : 矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用DC/AC電源など）に接続されると故障する場合があります。
- 注10 : ・ 当社測定基準によります。
・ 電源オフ時の消費電力は、約0.4Wです。
電源オフ時の消費電力を0にするには、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 注11 : シンククライアント専用OSは日本語に対応していないため、日本語の表示および取り扱いはできません。

8.2 ディスプレイ

8.2.1 解像度

本パソコンが出力可能な解像度です。

お使いのディスプレイが対応している解像度のみ表示できます。お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。

発色数は、「16ビット」（約6万5千色）または「32ビット」（約1677万色）が選択できます。

解像度	対応	水平走査周波数 (kHz)	リフレッシュレート (Hz)
800 × 600	○	46.9	75
1024 × 768	○	60.0	75
1280 × 1024	○	80.0	75
1440 × 900	○注	55.5	60
1600 × 1200	○	75.0	60
1680 × 1050	○注	65.3	60
1920 × 1080	○注	67.5	60
1920 × 1200	○注	74.0	60

注 : お使いの外部ディスプレイのパネルの解像度と一致している場合のみ表示できます。

廃棄・リサイクル

■ 本製品の廃棄について

- 本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
 - ・ 法人、企業のお客様へ
本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>)をご覧ください。

索引

B

BIOS

ーイベントログ	57
ーエラーメッセージ	56
ーパスワード	36
BIOSセットアップ	25
ー起動する	26
ー終了する	28

I

ICA client	23
------------	----

L

LANコネクタ	21
---------	----

M

Mozilla Firefox Browser	23
-------------------------	----

R

RDP client	23
------------	----

U

USBコネクタ	20
---------	----

V

VMware View Client	23
--------------------	----

W

Wakeup on LAN	38
---------------	----

あ行

イベントログ	57
エラーメッセージ	48, 56
オーディオ端子	20
お問い合わせ先	58

か行

解像度	62
キーボード	
ーお手入れ	41
起動デバイス	38
起動メニュー	28

た行

ディスプレイ	
ー解像度	62
ディスプレイコネクタ	19
盗難防止用ロック	11

は行

廃棄	63
パスワード	
ーBIOS	36
ビーブ音	48
ヘッドホン・ラインアウト兼用端子	20

ま行

マイク・ラインイン兼用端子	20
マウス	
ーお手入れ	41

ら行

リサイクル	63
-------	----

FUTRO
A300

製品ガイド
B6FJ-9451-01-01

発行日 2012年10月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。